

# 光ホームゲートウェイ

羽根稔尚\*  
名取英男\*  
横谷哲也\*\*

Residential Gateway for Optical Network

Toshihisa Hane, Hideo Natori, Tetsuya Yokotani

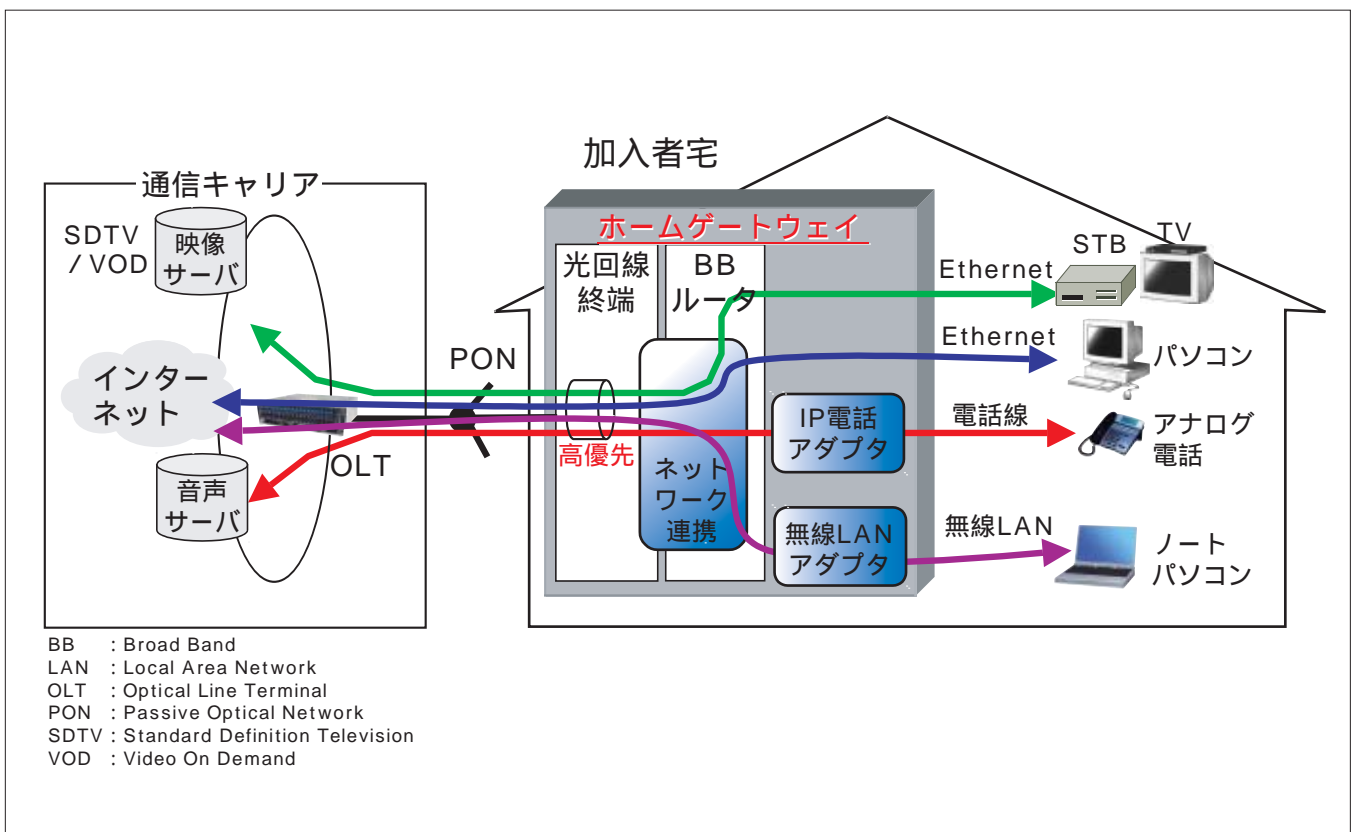
## 要旨

近年、FTTH( Fiber To The Home )を始めとしたブロードバンドサービスの一般家庭への普及が進んでおり、各キャリアはIP( Internet Protocol )電話、映像配信、インターネット接続のいわゆるトリプルプレーサービスの展開を始めている。

一方、宅内では、パソコン以外にも、デジタルTV、DVD( Digital Versatile Disk )レコーダ、STB( Set Top Box )などのAV機器、さらにはエアコン、電子レンジなどの家電でもネットワーク接続の標準化が多数試みられ、ユビキタスネットワークが実現されつつある。

このような状況の中、宅内ネットワークに接続された様々な機器を容易かつセキュアにキャリアネットワークに接続し、さらにコンテンツ著作権保護、規格の差異吸収等を確認しつつ宅内機器間を接続するホームゲートウェイ実現の重要性が高まっている。

本稿では、これらの技術動向を述べるとともに、三菱電機のホームゲートウェイへの取り組みと、キャリアのFTTHサービス向けONU( Optical Network Unit )内蔵の光ホームゲートウェイについて述べる。



## FTTHによるトリプルサービス構成

キャリア拠点に設置されている映像サーバ、SIP( Session Initiation Protocol )等の音声サーバ、及びISPに設定されるPPPoE( Point to Point Protocol over Ethernet )サーバに、ホームゲートウェイを介してSTB + TV、アナログ電話、パソコン等を接続し、FTTH上で映像、音声、データの3つのサービスを同時に提供する。映像や音声データはホームゲートウェイ、FTTH上では優先転送される。